

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立倉敷天城高等学校		
実践者等		太田 幸奈	実践日	令和4年10月17日
実践場面		彫刻：抽象的な形で2022年の自分の心を表現しよう		
対象生徒（学年等）		普通科1年 美術選択者		
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☒ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☐ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化		
		☒ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用		
		☒ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化		
		☐ その他（ ）		
	家庭学習	☒ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着		
実践の内容				
【授業】 Chrome 描画キャンバスを使用したアイデアスケッチ ジャムボードで意見の共有・整理、作品鑑賞 (1) 教科書やスライドで抽象彫刻作品を鑑賞し、形とイメージの結びつきを感じ取る (2) <u>喜怒哀楽を抽象的な形で表現する</u> - Chrome 描画キャンバスでアイデアスケッチを行い、ジャムボードに貼りリアルタイムで共有する (3) <u>グループごとに形の共通点や特徴を整理する</u> - ジャムボードの付箋機能やペン機能を使用し、グループごとに形の特徴を整理する。 (4) <u>整理した特徴をふまえ、参考作品を鑑賞する</u> - 形から作品のタイトル（テーマ）を予想する				
【本時と家庭学習との連動】 アイデアスケッチを描く際、ジャムボードのアーカイブを参考にする				